

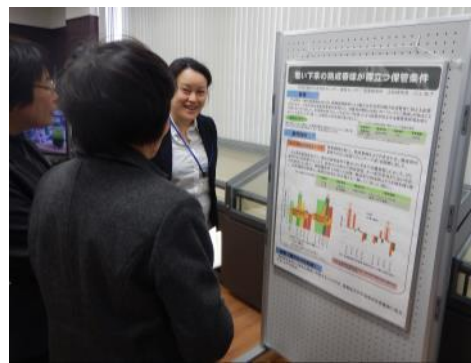
新たな機能性成分など最新の研究成果を報告

2 月 8 日、研究成果を速やかに普及することを目的に、平成 30 年度茶業研究所研究報告会を開催し、茶生産者や茶商業者など 280 名が参加されました。高品質宇治茶の新しい機能性成分、海外輸出に向けた病虫害防除体系、高品質なてん茶製造のための技術開発について報告するとともに、てん茶の熟成、繊維含有率推定による摘採適期判定についてのポスター発表を行ったところ、参加者からは「機能性や輸出など最新の研究のトレンドを知ることができた」「今後もてん茶の熟成についての研究を進めてほしい」、「自分の判断している摘採適期の確認のため、データを取ってみたい」などの意見があり、関心の高さがうかがえました。

今後宇治茶の生産・流通現場のニーズを捉えた研究を行い、宇治茶ブランドの発展につながる成果の普及を目指します。



研究成果を報告する研究員



ポスター発表での活発な議論